

令和8年1月14日

埼玉県感染症発生動向調査事業



感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2026年 第2週 (1月5日~1月11日)

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし	
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2人 類型 無症状病原体保有者 2人 血清型 O26 1人、O55 1人	
四類感染症	報告なし	
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1人 菌種 Klebsiella sp.	
急性脳炎	1人 病原体 インフルエンザウイルス	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3人 血清群 A群 1人、B群 1人、G群 1人	
後天性免疫不全症候群	1人 病型 無症状病原体保有者	
侵襲性髄膜炎菌感染症	1人 推定感染地域 国内	
侵襲性肺炎球菌感染症	2人	
梅毒	6人 病型 早期顕症Ⅰ期 3人、 無症状病原体保有者 3人	
破傷風	1人	
百日咳	16人	
年齢階級		6歳 1人、10歳代 11人、30歳代 1人、 40歳代 1人、50歳代 2人

〈定点把握疾患の患者情報〉

インフルエンザ (24.29*→14.91*→10.90:図1-1～2) の定点当たり報告数は、2週前である2025年第52週と比較して減少したものの、やや多い状況にある。基幹定点におけるインフルエンザ（入院）の報告数は21人（前週23人）で、第48週以降減少傾向にある。新型コロナウイルス感染症 (1.65→1.72*→2.12:図2) の定点当たり報告数は、2週前と比較してわずかに増加した。基幹定点における新型コロナウイルス感染症（入院）の報告は12人（前週6人）であった。感染性胃腸炎 (7.59*→2.69*→7.69:図3) の定点当たり報告数は、2週前と同水準であった。急性呼吸器感染症 (99.36*→51.63*→64.67:図4) の定点当たり報告数は、2週前と比較して減少した。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎2人、流行性角結膜炎21人の報告があった。基幹定点報告疾患では、細菌性髄膜炎1人、無菌性髄膜炎1人、マイコプラズマ肺炎5人、感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）2人の報告があった。

* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト(URL: <https://id-info.jhs.go.jp/>)で御覧になれます。

<インフルエンザ流行情報>

図 1-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

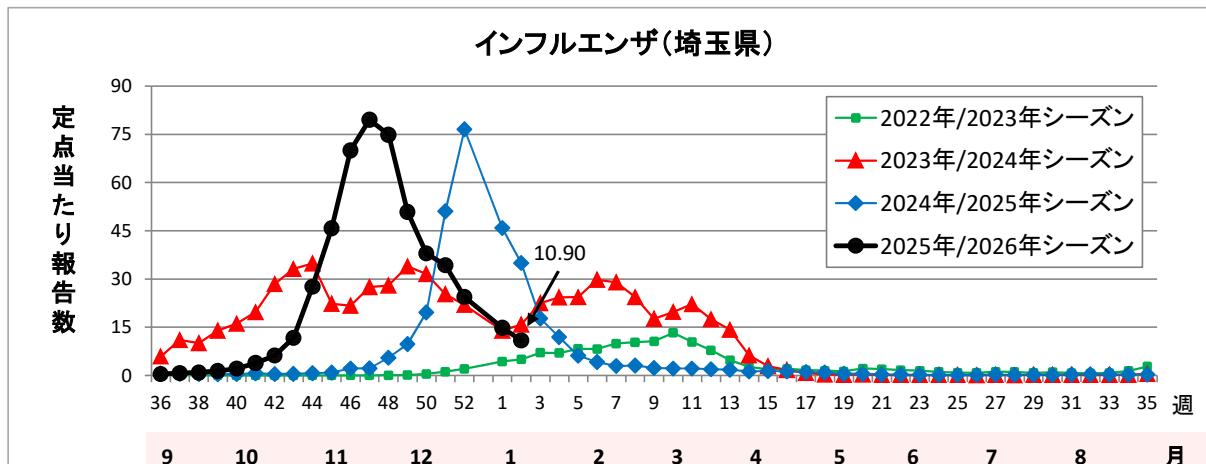
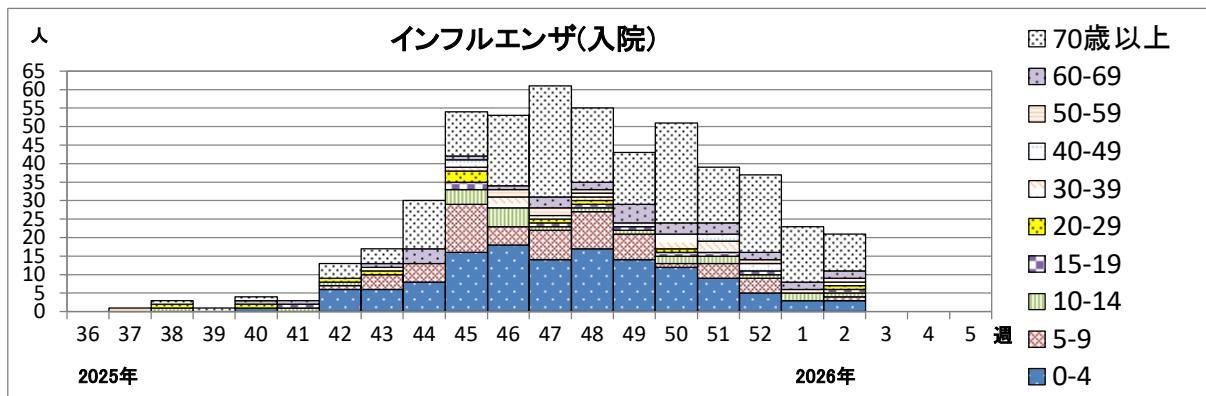


図 1-2 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数



＜今週の注目される定点把握対象疾患の推移＞

図2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

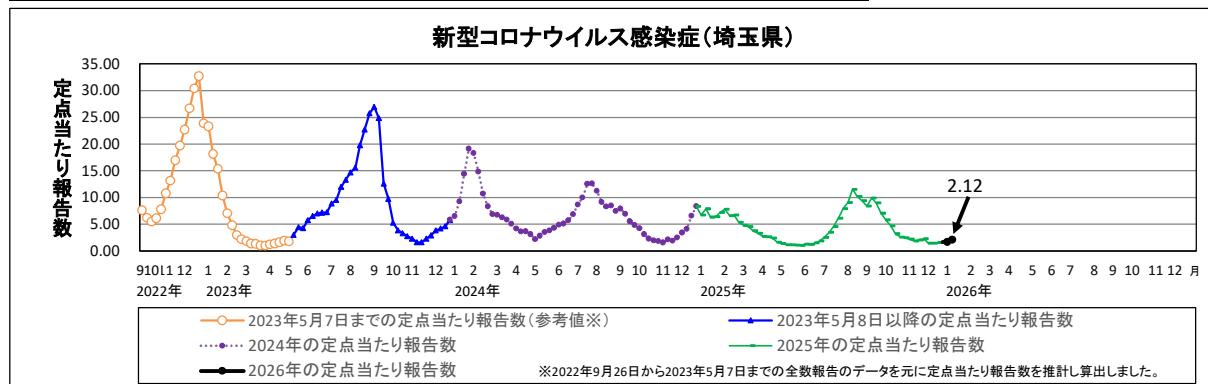


図3 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移

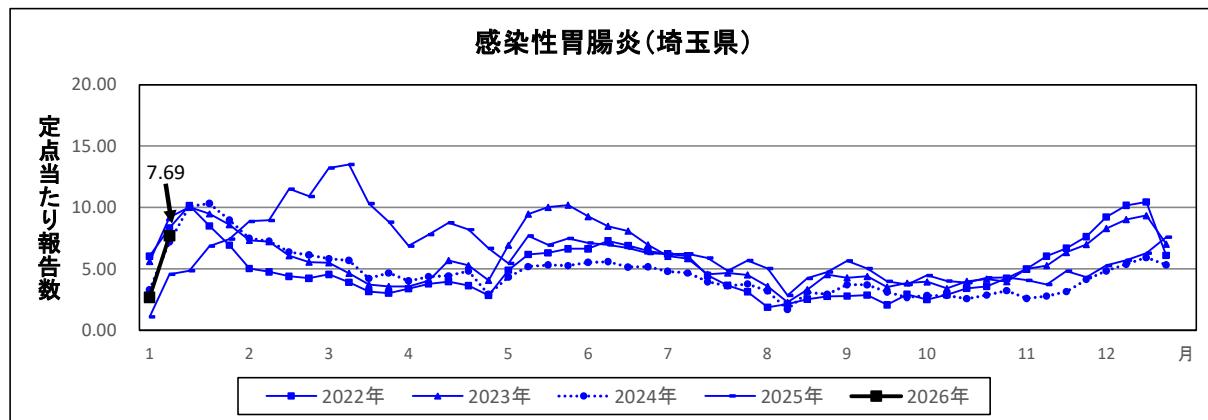
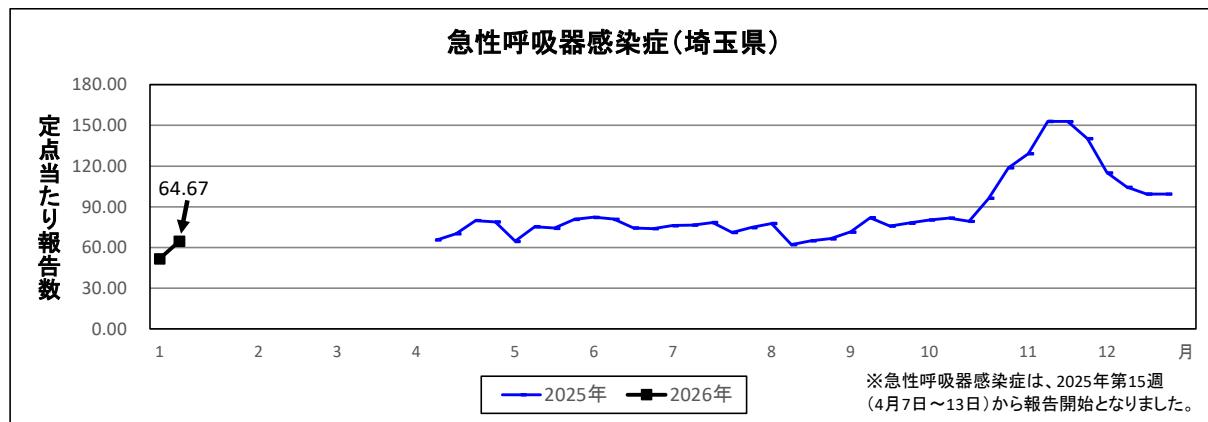


図4 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第2週)

(2026年1月13日 16:45集計)

	今週 届出	累 計	2025年 累計		今週 届出	累 計	2025年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核 * 1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			4
細菌性赤痢				5 パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	2	4	181				
四類感染症							
E型肝炎			41	東部ウマ脳炎			
ウェストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			9	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			1
エムポックス				日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			1
キャサヌル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			3
重症熱性血小板減少症候群				野兎病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チケングニア熱			1	レジオネラ症		3	105
つつが虫病			4	レプトスピラ症			2
デング熱			5	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢			16	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2	154
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		1	12	水痘(入院例に限る)			29
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	2	67	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			5	梅毒	6	7	524
急性脳炎	1	1	71	播種性クリプトコックス症			4
クリプトスボリジウム症			1	破傷風	1	1	7
クロイツフェルト・ヤコブ病			11	パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	4	68	パンコマイシン耐性腸球菌感染症			3
後天性免疫不全症候群	1	1	31	百日咳	16	15	4904
ジアルジア症				風しん			
侵襲性インフルエンザ菌感染症			23	麻しん			13
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	5	薬剤耐性アシнетバクター感染症			

累計は診断週で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)			報告患者数										保健所別			(2026年第2週)			1月5日～1月11日			新型コロナウイルス感染症		
保健所		インフルエンザ #1	新型コロナウイルス症 インフルエンザ	急性呼吸器感染症	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎 #2	無菌性結膜炎	マイコプラズマ肺炎 #3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス症 インフルエンザ	
全 県	報告数	1,886	366	11,188	40	36	233	831	65	6	12	33	1	2	2	21	1	1	5	-	2	21	12	
	定点当たり	10.90	2.12	64.67	0.37	0.33	2.16	7.69	0.60	0.06	0.11	0.31	0.01	0.02	0.05	0.49	0.08	0.08	0.42	-	0.17	1.75	1.00	
朝 霞	報告数	343	37	1,003	2	1	8	55	6	-	1	2	-	-	-	7	-	-	1	-	1	1	2	
	定点当たり	24.50	2.64	71.64	0.25	0.13	1.00	6.88	0.75	-	0.13	0.25	-	-	-	1.40	-	-	1.00	-	1.00	1.00	2.00	
鴻 川	報告数	209	30	1,102	4	6	42	44	8	1	2	8	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	17.42	2.50	91.83	0.57	0.86	6.00	6.29	1.14	0.14	0.29	1.14	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数	38	14	272	-	-	1	42	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	
	定点当たり	9.50	3.50	68.00	-	-	0.33	14.00	0.33	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	2.00	
秩 父	報告数	38	4	98	1	1	8	2	2	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1	
	定点当たり	9.50	1.00	24.50	0.33	0.33	2.67	0.67	0.67	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	1.00	-	
本 庄	報告数	16	7	188	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	定点当たり	4.00	1.75	47.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	
熊 谷	報告数	70	21	588	3	1	13	30	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	定点当たり	7.78	2.33	65.33	0.60	0.20	2.60	6.00	1.00	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	
加 須	報告数	58	7	165	1	-	6	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	5	
	定点当たり	11.60	1.40	33.00	0.33	-	2.00	-	-	-	-	0.33	-	-	-	1.00	1.00	-	1.00	-	-	-	5.00	
春 日 部	報告数	50	17	564	4	2	13	53	3	-	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	8.33	2.83	94.00	1.33	0.67	4.33	17.67	1.00	-	-	0.67	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数	180	52	951	3	2	21	55	-	-	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	20.00	5.78	105.67	0.60	0.40	4.20	11.00	-	-	-	0.40	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数	29	6	238	1	-	3	33	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	定点当たり	7.25	1.50	59.50	0.33	-	1.00	11.00	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
草 加	報告数	152	27	675	1	2	13	45	8	2	-	3	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	13.82	2.45	61.36	0.14	0.29	1.86	6.43	1.14	0.29	-	0.43	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数	172	68	817	3	6	12	33	6	-	-	1	-	-	2	1	-	-	1	-	-	2		
	定点当たり	13.23	5.23	62.85	0.30	0.60	1.20	3.30	0.60	-	-	0.10	-	-	0.40	0.20	-	-	1.00	-	-	2.00		
南 部	報告数	48	7	398	6	-	23	85	2	1	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	定点当たり	9.60	1.40	79.60	2.00	-	7.67	28.33	0.67	0.33	2.00	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	1.00	
川 越 市	報告数	68	9	561	1	5	11	23	5	2	1	2	-	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	7.56	1.00	62.33	0.20	1.00	2.20	4.60	1.00	0.40	0.20	0.40	-	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数	71	9	627	-	-	1	10	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	2		
	定点当たり	8.88	1.13	78.38	-	-	0.20	2.00	-	-	-	-	0.40	-	-	-	-	-	1.00	-	-	2.00		
川 口 市	報告数	140	21	915	4	1	14	62	6	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2		
	定点当たり	10.00	1.50	65.36	0.50	0.13	1.75	7.75	0.75	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	2.00		
さいたま市	報告数	204	30	2,026	6	9	41	259	12	-	-	6	1	-	-	7	-	1	-	-	1	4		
	定点当たり	4.86	0.71	48.24	0.22	0.33	1.52	9.59	0.44	-	-	0.22	0.04	-	-	0.78	-	1.00	-	-	1.00	4.00		

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

1月 13日 15:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2026年第2週)

1月5日～1月11日

	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	1,886	12	20	69	86	53	66	52	57	39	44	41	181	153	331	186	160	134	91	55	56	
新型コロナウイルス感染症	366	5	6	13	7	7	4	5	2	4	2	2	18	12	44	30	46	47	33	33	46	
	合計	0歳		1-4				5-9					10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
急性呼吸器感染症	11,188	693		3,042				2,098					954	493	841	726	612	604	433	378	314	
	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	40	11	11	12	2	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	36	1	1	9	7	7	1	3	1	-	2	1	3	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	233	-	-	6	14	17	27	23	34	20	18	19	39	3	13							
感染性胃腸炎	831	14	103	123	98	67	66	66	41	37	26	35	87	25	43							
水痘	65	-	1	1	2	2	4	9	6	2	8	6	23	1	-							
手足口病	6	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-							
伝染性紅斑	12	-	-	3	1	-	1	1	2	1	1	1	1	-	-							
突発性発しん	33	-	3	19	4	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-							
	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-		
流行性角結膜炎	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1	-	1	-	7	5	-	3	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	5	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
インフルエンザ(入院)	21	2	1	1	1	1	-	1	1	-	-	-	1	-	1	1	10					
新型コロナウイルス感染症(入院)	12	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11		

※ 表中の数値は各定点からの報告数（- : 0）

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第51週 (12月15日～12月21日)

令和8年1月14日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,854):インフルエンザの定点当たり報告数は第48週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(94.75)、鹿児島県(76.54)、福岡県(63.69)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,895例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(91例)、1～9歳(488例)、10代(122例)、20代(45例)、30代(34例)、40代(26例)、50代(65例)、60代(141例)、70代(323例)、80歳以上(560例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は北海道(4.40)、福島県(3.83)、岩手県(2.67)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は674例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(10例)、1～9歳(24例)、10代(4例)、20代(6例)、30代(7例)、40代(11例)、50代(32例)、60代(61例)、70代(168例)、80歳以上(351例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,840)定点当たり報告数は第48週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(129.29)、鹿児島県(113.04)、大分県(106.69)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,347):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(2.05)、和歌山県(1.96)、島根県(1.27)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.13)、島根県(1.18)、愛媛県(0.80)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(5.95)、茨城県(5.38)、福岡県(5.19)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(11.17)、群馬県(10.60)、岐阜県(9.78)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は島根県(0.82)、北海道(0.80)、秋田県(0.77)、長崎県(0.77)である。手足口病の定点当たり報告数は第38週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.52)、福井県(0.28)、鹿児島県(0.26)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.58)、山口県(2.18)、佐賀県(2.17)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第44週以降減少が続いている。都道府県別の上位2位は沖縄県(0.20)、茨城県(0.08)、福井県(0.08)、奈良県(0.08)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(0.12)、岡山県(0.11)、大分県(0.11)、新潟県(0.07)である。

基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は北海道(2.00)、群馬県(2.00)、京都府(1.86)、秋田県(1.75)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。8都道府県から12例報告があり、年齢群別では0歳(2例)、1～4歳(5例)、5～9歳(3例)、10代(2例)であった。

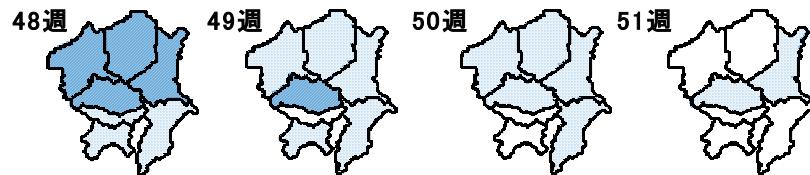
Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第51週(12月15日～12月21日):通巻第27巻 第51号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、茨城県(34.40)、埼玉県(34.30)からの報告が多い。

インフルエンザ

- 50.00 以上
- 30.00 ~ 50.00
- 30.00 未満



	2025年 51週								
	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	126,127	28,442	2,305	1,134	1,088	6,036	5,375	6,739	5,765
報告数	32.73	24.12	34.40	24.13	24.18	34.30	29.37	16.12	23.72
定点当たり			1.174	0.94	0.68	2.76	1.66	2.48	1.77
新型コロナウイルス感染症	4,778	1,174	145	94	68	276	166	248	177
報告数	1.24	1.00	2.16	2.00	1.51	1.57	0.91	0.59	0.73
急性呼吸器感染症	296,974	92,900	6,145	4,457	4,531	17,502	14,953	26,183	19,129
報告数	77.34	79.06	91.72	94.83	100.69	99.44	82.16	62.64	79.70
RSウイルス感染症	1,480	242	11	13	18	53	23	58	66
報告数	0.63	0.34	0.30	0.48	0.72	0.48	0.21	0.22	0.47
咽頭結膜熱	750	125	14	4	18	22	7	49	11
報告数	0.32	0.17	0.38	0.15	0.72	0.20	0.06	0.19	0.08
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6,512	2,351	199	90	64	419	458	660	461
報告数	2.77	3.28	5.38	3.33	2.56	3.77	4.09	2.50	3.27
感染性胃腸炎	12,510	5,189	235	135	265	697	645	2,234	978
報告数	5.33	7.24	6.35	5.00	10.60	6.28	5.76	8.46	6.94
水痘	908	302	23	18	9	43	36	112	61
報告数	0.39	0.42	0.62	0.67	0.36	0.39	0.32	0.42	0.43
手足口病	136	32	-	-	1	6	6	10	9
報告数	0.06	0.04	-	-	0.04	0.05	0.05	0.04	0.06
伝染性紅斑	1,191	76	7	4	3	11	18	16	17
報告数	0.51	0.11	0.19	0.15	0.12	0.10	0.16	0.06	0.12
突発性発しん	509	138	5	10	9	27	18	46	23
報告数	0.22	0.19	0.14	0.37	0.36	0.24	0.16	0.17	0.16
ヘルパンギーナ	51	12	3	1	1	-	1	6	-
報告数	0.02	0.02	0.08	0.04	0.04	-	0.01	0.02	-
流行性耳下腺炎	80	33	1	-	3	2	5	14	8
報告数	0.03	0.05	0.03	-	0.12	0.02	0.04	0.05	0.06
急性出血性結膜炎	9	2	-	-	-	2	-	-	-
報告数	0.01	0.01	-	-	-	0.05	-	-	-
流行性角結膜炎	419	138	28	5	8	21	16	25	35
報告数	0.60	0.66	1.65	0.42	0.57	0.49	0.48	0.64	0.67
細菌性髄膜炎 #2	15	5	-	-	-	1	1	2	1
報告数	0.03	0.06	-	-	-	0.08	0.11	0.08	0.08
無菌性髄膜炎	13	4	-	-	-	-	1	1	2
報告数	0.03	0.05	-	-	-	-	0.11	0.04	0.17
マイコプラズマ肺炎	389	71	9	11	18	13	4	8	8
報告数	0.81	0.82	0.69	1.57	2.00	1.08	0.44	0.32	0.67
クラミジア肺炎 #3	6	2	-	-	-	-	2	-	-
報告数	0.01	0.02	-	-	-	-	0.08	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	12	2	-	-	-	-	2	-	-
報告数	0.02	0.02	-	-	-	-	0.08	-	-

#1 烟インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

埼玉県病原微生物検出情報（月報）2025年12月号 2026年1月14日発行

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

急性呼吸器感染症は、12月に720検体が採取され660検体で検査が終了しました。最も多く検出された病原体はインフルエンザウイルスで、281件(42.6%)でした。検出されたインフルエンザウイルスの型別の内訳は、AH3亜型が277件、B型(ピクトリア系統)が4件であり、10月以降、継続してAH3亜型が優位に検出されています。

急性呼吸器感染症については、最新の検出状況を以下のページに記載しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>

細菌検出状況

三類感染症						
臨床診断名	病原体名	採取月	10月	11月	12月	備考(12月分)
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌(<i>Escherichia coli</i>)合計		18	16	2	
	O157:H7	3	2	1		VT1&2:1
	O157:H-	1				
	O26:H11	2	11			
	O111:H-		1			
	O103:H2	3	1		1	OUT:H-(VT2):1
腸チフス	<i>Salmonella</i> Typhi	1(1)				

コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスに関しては、()内に海外感染例を掲載

四類感染症						
臨床診断名	病原体名	採取月	10月	11月	12月	備考(12月分)
つつが虫病	<i>Orientia tsutsugamushi</i> (PCR陽性)			1		
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> SG1	2	1	1		
	<i>Legionella</i> spp. (LAMP陽性)		1			
レブトスピラ症	<i>Leptospira</i> spp. (PCR陽性)		1			

五類感染症(全数把握)						
臨床診断名	病原体名	採取月	10月	11月	12月	備考(12月分)
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	<i>Klebsiella aerogenes</i>			1	1	
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>			1		
	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	1	1			
	<i>Escherichia coli</i>	2				
	<i>Serratia marcescens</i>	1				
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	<i>Streptococcus pyogenes</i> (血清群A群)	3	2	1		
	<i>Streptococcus agalactiae</i> (血清群B群)		1			
	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>		2	1		血清群G群:1
侵襲性髄膜炎菌感染症	<i>Neisseria meningitidis</i>		1			
侵襲性肺炎球菌感染症	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	2				

ウイルス検出状況

四類感染症

臨床診断名	ウイルス	2026年1月7日 現在(累計: 2025年1月~)					
		採取月 検体合計数	10月 10	11月 6	12月 2	累計 68	その他のウイルス
E型肝炎	検体数		5	2	1	30	
	E型肝炎		4			16	
A型肝炎	検体数		3	1		7	
	A型肝炎		2	1		6	
エムボックス	検体数 エムボックス		2			2	
重症熱性血小板減少症候群	検体数 SFTS			1	1	18	
チクングニア熱	検体数 チクングニア			2		4	
						1	
デング熱	検体数 デング					7	
						2	

五類感染症(全数把握)

臨床診断名	ウイルス	2026年1月7日 現在(累計: 2025年1月~)					
		採取月 検体合計数	10月 25	11月 27	12月 36	累計 497	その他のウイルス
急性弛緩性麻痺	検体数 エンテロ D68 検査中			11		27	コクサッキー A2(2), コクサッキー A4(1), バレコ(2), RS A(1)
急性脳炎 (四類以外)	検体数 コクサッキー B5 エコー 9 エンテロ nt バレコ ライノ 単純ヘルペス 1 単純ヘルペス 2 EB ヒトヘルペス 6 ヒトヘルペス 7 アデノ 2 検査中		9	2	4	82	
水痘 (入院例)	検体数 水痘帯状疱疹		4			6	
風しん	検体数 風しん				3	35	
麻しん	検体数 麻しん		12	14	29	347	麻しん(ワクチン株)(3)

五類感染症(定点把握) (急性呼吸器感染症を除く)

臨床診断名	ウイルス	2026年1月7日 現在(累計: 2025年1月~)												その他のウイルス	
		採取月 検体合計数	1月 18	2月 22	3月 15	4月 38	5月 17	6月 14	7月 30	8月 18	9月 18	10月 29	11月 17	12月 3	
RSウイルス 感染症	検体数 RS A RS B		1	2	6	11	2	2	1	3	2	10	7	47	ライノ(1)
咽頭結膜熱	検体数 アデノ 2 アデノ 4		1	2	3	3	1		1	2	2	7	6	25	
感染性胃腸炎	検体数 ノロ サボ アストロ ロタ(A) アデノ 41		7	12	5	15	7	7	9	4	6	7	2	2	83
水痘	検体数 水痘帯状疱疹				1			1						1	21
手足口病	検体数 コクサッキー A6 検査中					1	1	2	4	2	1			11	エコー 9(1), エコー 18(2), 単純ヘルペス 1(1)
伝染性紅斑	検体数 ヒトパルボ B19		2			4			1		1			1	5
突発性発しん	検体数 ヒトヘルペス 6 ヒトヘルペス 7						2		1		1			3	ヒトパルボ B19(1)
ヘルパンギーナ	検体数 コクサッキー A4 コクサッキー A5				4			3	1	3				8	エントロ nt(1), バレコ(1)
流行性耳下腺炎	検体数 ムンブス				1		1	1	2				1	5	ライノ(1), ヒトヘルペス 7(1)
急性出血性 結膜炎	検体数 エンテロ D70											1		1	
流行性 角結膜炎	検体数 アデノ 37 アデノ 54 アデノ 56		2			1	1	1	4	2	4			16	
無菌性結膜炎	検体数 コクサッキー B5 バレコ A5 ライノ アデノ 2 ヒトヘルペス 6 ヒトヘルペス 7 ヒトパルボ B19 新型コロナ 検査中		5	8	3	6	4	2	7	2	6	7		50	3 4 1 1 1 3 4 1 3

急性呼吸器感染症

臨床診断名	採取月	2026年1月7日 現在(累計: 2025年4月7日~)												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
	検体数				707	869	856	953	665	910	909	954	720	7543
	インフルエンザ AH1pdm09				13	4	4	13	5	12	24	5	80	
	インフルエンザ AH3				11	3			1	16	112	413	277	833
	インフルエンザ B(ピクトリア)				12	11	3		1	2	5	4	38	
	インフルエンザ B				1								1	
	新型コロナ				67	45	71	184	220	225	96	34	24	966
	RS A				9	3	4	7	17	33	33	10	10	126
	RS B				15	17	5	13	28	61	52	15	13	219
	RS nt				1	1	1							3
	ヒトメタニューーモ				37	18	4	9	6	4	5	4	1	88
	パライフルエンザ 1				1		1	1		2	6	5	4	20
	パライフルエンザ 2				5	5	21	50	20	21	8	2		132
	パライフルエンザ 3				44	156	162	64	8	4		2	1	441
	パライフルエンザ 4				12	23	53	77	15	7		1		188
	ライノ/エンテロ				180	234	165	137	76	133	149	93	34	1201
	アデノ				10	21	25	34	16	16	18	16	25	181
急性呼吸器感染症	ヒトコロナ HKU1				3					1	1	4	9	
	ヒトコロナ OC43				6	2		1	1	1		1	2	14
	ヒトコロナ 229E				3	6	2		1	2	1	2	2	19
	ヒトコロナ NL63				20	9	5	13	6	25	31	17	18	144
	ヒトパレコ				1	1	7	4	5	3	2	1	24	
	ヒトボカ				9	11	14	6	2	2	2	3	3	49
	肺炎マイコプラズマ				2	1	2	8	12	7	12	3	3	50
	百日咳				3	2	3	5	6	3	3		25	
	単純ヘルペス1				1				1				1	
	水痘带状疱疹												1	
	EB						1						2	
	サイトメガロ					1		1		1			3	
	ヒトヘルペス 6					3	1		1				6	
	ヒトヘルペス 7				1	2		1	1	2		1	8	
	ヒトバルボ B19											6	4	
	検査中											60	66	

季節性インフルエンザ

臨床診断名	採取月	2026年1月7日 現在(累計: 2025年1月~4月6日)												その他のウイルス
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
	検体数	78	32	38	6									154
インフルエンザ	インフルエンザ AH1pdm09	54	15	4										73
	インフルエンザ AH3	16	8	18	2									44
	インフルエンザ A	1												1
	インフルエンザ B(ピクトリア)	4	8	14	4									30

急性呼吸器感染症(病原体) サーベイランスの結果を含む。

急性呼吸器感染症(病原体) サーベイランス

臨床診断名	採取月	2026年1月7日 現在(累計: 2025年1月~4月6日)												その他のウイルス
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
	検体数	183	170	180	17									550
	新型コロナ	36	64	41	4									145
	インフルエンザ AH1pdm09	58	13	5	1									77
	インフルエンザ AH3	20	9	19	3									51
	インフルエンザ A	1												1
	インフルエンザ B(ピクトリア)	6	10	14	3									33
	ヒトメタニューーモ	4	17	16	1									38
	RS	5	9	9										23
	コロナ HKU1	4	6	2										12
	コロナ NL63			4										4
	コロナ OC43	4	3											7
	ライノ	8	7	17	1									33
	パライフルエンザ 3		3	3										6
	パライフルエンザ 4			1										1
	エンテロ	1												1
	アデノ 2	2	1	1										1
	アデノ	2	1	1	2									4
	肺炎マイコプラズマ	4	1											7
	EB													1
	ヒトヘルペス 7			1										1

* 季節性インフルエンザ及び急性呼吸器(病原体) サーベイランスのインフルエンザ様疾患については、2025年4月7日から五類定点把握対象疾患の急性呼吸器感染症として病原体検査を行っています。

感染症発生動向調査
2026年

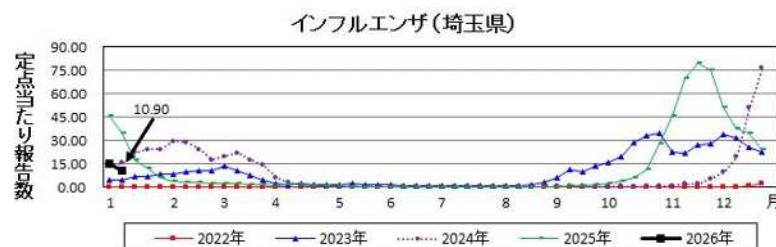
▶ 感染症の流行状況 2026年
第1週

感染症の流行状況 2026年 第2週

2026年第2週（1月5日～1月11日）の要点

インフルエンザの定点当たり報告数は、10.90であり、2025年第52週と比較して減少しましたが、やや多い状況にあります。

感染予防のため、咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<u>インフルエンザ</u>	↓	★★	<u>手足口病</u>	→	★
<u>新型コロナウイルス感染症</u>	↑	—	<u>伝染性紅斑（りんご病）</u>	→	★
<u>急性呼吸器感染症</u>	↓	—	<u>突然性発しん</u>	→	★
<u>RSウイルス感染症</u>	→	★	<u>ヘルパンギーナ</u>	→	★
<u>咽頭結膜熱（プール熱）</u>	→	★	<u>流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</u>	→	★
<u>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u>	↓	★	<u>急性出血性結膜炎</u>	→	★
<u>感染性胃腸炎</u>	→	★★	<u>流行性角結膜炎</u>	→	★
<u>水痘（みずぼうそう）</u>	↑	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。



埼玉県のマスコット コバトン